

東堂陽一
議会便り 第16号(2-9)
平成19年 7月 25日発行

今号の内容

1. 病院と水道の決算は？
2. 火葬場の建て替え計画
3. 「戦国の館・掛川」
ただいま苦戦中
・市民憲章と
非核平和都市宣言
・インターネットの時代
4. 写真でみる最近の話題

病院と水道の決算は？

公営企業会計決算特別委員会(6月議会)

(病院事業)

約3.27億円もの赤字計上となった。その原因として、

- ① 診療報酬の引き下げ改定(3.16%)
- ② 自治体病院としては、不採算部門でも維持していかなければならない。
- ③ 高価な医療機器等への投資
- ④ 時間外診療が赤字を生む。

ことなどが指摘され続けています。

そして、病院長は常々、「医師不足が最大の赤字要因である。」とも述べています。

しかし、これらの説明を何度聞いても、病院が赤字になるということはなかなか理解しかねる、というのが正直な感想です。

今年の委員会では、これからの対策として

- ① 経営企画課の新設
- ② 経営改善5ヵ年計画の策定
- ③ 外部機関による経営コンサルティング
- ④ 病診連携の推進

などが示されました。これ以外にも、民間の感覚で眺めると、メスを入れるべきではないかと思えるところもあります。

「赤字にはなってしまったものの、決算自体は適切であり、医師や看護師、職員の努力は評価する。示された対策を着実に実行、管理することを条件に決算を認める。」という意見と、これとは反対に、「赤字決算になってしまったという市長の責任は免れない。」という意見もありましたが、採決の結果、賛成多数でこの決算を認定しました。



掛川市立病院全景(築23年)



遊家の配水池(容量3,600トン)
(次ページ水道決算をご覧ください)

公営企業会計決算特別委員会(6月議会)つづき

(水道事業)

給水戸数や給水人口は増えているが、給水量は減少しています。その理由としては、

- ① 節水意識の高まり
- ② 節水型電気器具の普及
- ③ ペットボトルを飲料水として購入する
(水道水を飲まない)人が増加している

ことなどが考えられるということです。

また、今年の概況として、

- ① 老朽石綿管の布設替え完了
昭和63年から19年間で総工費30.8億円を掛け、総延長189kmを改良した。
- ② 掛川市の水道普及率は99.3%
- ③ 大井川水道企業団からの水が8割(自己水源は2割)となった。
- ④ 水道料金のコンビニ収納が導入された。

ことなどが報告されました。

決算自体は約1.76億円の黒字でしたが、水の使用量は減少傾向にあり(これ自体は良いことであるが)、公営企業としては収益が減少し、経営環境は厳しくなりつつあります。水需要の拡大によるこれまでの経営戦略は見直し、新しい戦略を考えるべき時期にさしかかっていると思います。

なお今年度は、現在旧1市2町で別々の水道料金体系の統一が予定されています。



大正10年7月 水道給水開始時の水瓶の中はどうなっているのでしょうか？

火葬場の建て替え計画

東遠地区聖苑組合議会より

新しい聖苑(火葬場)の建設計画が進められています。

今年度に用地取得を終え、平成21年度から24年度に掛け工事をを行い、平成25年4月に供用を開始する予定です。

総工費26億3,300万円、現在地での建て替えで、拡張後の面積は現在の約1.4倍になります。火葬炉の数は現在の5基から8基に増えます。



現在の聖苑(菊川市西方)

「戦国の館・掛川」ただいま苦戦中

賛否両論の激論の末決定した「戦国の館・掛川」の、6月末での入場者数は36,882人だそうです。このまま推移すると、最終的には80,000人程度の入場者数でしょうか。戸塚市長が「政治生命をかける」とまで言った15万人には、とても届きそうにありません。もともと問題のある計画でした。(詳しくは、議会便り第13号“2匹目のどじょうはいるのか”)にて述べたとおりです。

会合などで人が集まるたびに尋ねてみても、市民の中で見学に行った事のある人はごく稀です。しかし、実行に移したからには、一人でも多くの方に訪れて頂きたいと願っています。これからの巻き返しに期待をするものです。

なお余談ですが、私を含め多くの議員が、「たやすく政治生命をかけるなど言うべきでない。」、とその会議の席で申し上げた、ということをつけ加えておきます。



「戦国の館・掛川」リニューアルオープン (4月27日)

市民憲章と非核平和都市宣言

掛川市は今年の3月に、非核平和都市宣言をしました。そして今議会では、市民憲章を議決しました。市長はこのほかにも幾つかの都市宣言を立て続けに送り出したい意向を持っていました。いずれの宣言も趣旨は立派なものでしたが、思い付きではなく、“掛川市としてどういう街づくりを目指すか”ということをしっかり議論してから、出すべき都市宣言を考えてもらいたいと思います。

インターネットの時代

(病院決算特別委員会にて)

問 市立病院は慢性的な医師不足状態だが、昨年度は若干増えた。何が功を奏したか
答 インターネットの情報が一番であると思う。

(総務委員会での補正予算審議にて)

問 ホームページ有料広告掲載料はどんな様子か
答 6月1日より掛川市のホームページにバナー広告を募集掲載しています。それに伴い、今年度の収入予測114万円を補正予算に計上しています。

写真でみる最近の話題 (4月~6月)



水道感謝のつどい(4月9日)、十九首(水神宮)



桜木ホール開所式(4月14日)



たまり〜な落成式(4月27日)



植樹祭(4月28日)、大須賀とうもの里



総務委員会市内視察(5月29日)
(小笠山に完成した防災無線中継所)



高齢者サロン(6月23日)で輪投げに興じる参加者



消防団操法査閲大会(6月24日)



4 桜木体協トリムバレー大会(7月1日)